

# 新たなデータプラットフォームにおける 情報公表について

## 教育・学修の質向上に向けた新たな評価の在り方ワーキンググループ議論のまとめ（抜粋）

### 第2部 「新たな評価」制度の基本的枠組み

#### 5 評価結果の公表・活用

○ 全ての学修者が自らの可能性の伸長を実感できる高等教育改革を実現するために、各高等教育機関が「教育の質」の向上に向けた取組を更に加速させる必要がある。そのためには、第三者評価を通じて高等教育機関において学生の成長に資する取組が行われていることを明らかにするとともに、社会の理解を深め、支持を得ていくことがこれまで以上に必要である。

この点、前述したように評価に関するデータプラットフォームを設けることとしており、評価結果についても同プラットフォームにおいて一元的に公表する。その際、学生等が必要な情報に到達しやすくするために様々な要素でソート・検索できるような機能を備える。また、公表内容のフォーマットに統一性を持たせるとともに、評価結果及びそのように判断した評価の具体的内容を記載することとするが、情報の受け手である学生等がアクセスしやすいように評価の具体的内容についてはポイントをわかりやすく示すこととする。なお、特定の学位の分野について特定分野評価機関による評価を受審した場合には、当該学位の分野の評価結果も併せて公表する。

併せて、例えば、「所在地」、「授与される学位」、「養成する人材像」、「卒業認定・学位 授与の方針（ディプロマ・ポリシー）」のような学部等に関する基本的な情報を付記し、学生の進路選択等にも活用しやすくする。


○ ただし、「新たな評価」結果を公表する際には、各高等教育機関の個性・特色の明確化を図り、その多様性を明らかにするよう配慮することも必要である。

○ また、「知の総和答申」では、情報公表に関し、設置者別ではない新たなデータプラットフォーム Univ-map（ユニマップ）（仮称））の構築が提言されており、Univ-map（ユニマップ）（仮称）では「新たな評価」結果も併せて公表するが、評価結果以外の情報公表事項や公表の方法を検討する際に、評価結果を他の情報公表事項とどのように組み合わせるかについても併せて検討する。

### 知の総和答申における情報公表関係の記載（抜粋）

#### 2.(1) 教育研究の「質」の更なる高度化 ⑤情報公表の推進

新たな評価制度においては、新たなデータベースの情報を活用することとし、高等教育機関側・評価機関側の双方の負担軽減を図っていくことが求められるが、当該データベースとの連携も含めて、諸外国の状況も参照しながら、大学ポートレートで培ってきた実践や知見を生かしつつ、単純な数値に限らず高等教育機関を横断的に比較する観点から、設置者別ではない新たなデータプラットフォーム（Univ-map（ユニマップ）（仮称））を構築し、情報公表を更に進めることが必要である。その際、学修者や進学希望者が、各高等教育機関の教育力を把握するに当たって、どのような情報が必要であるかという観点から公表項目を検討していくことも必要である。

 新たな評価制度を効果的に機能させるため、各高等教育機関において「教育の質」の向上につなげていくための優れた取組や成果を積極的に公表していくことに加え、共通の仕組みで評価結果や学部等に関する基本的な情報を公表することで、学修者本位の高等教育改革につなげる。

# 共通の仕組みによる情報公表の現状と課題について

## 共通の仕組みによる情報公表の現状と課題

- 大学の教育活動の状況を発信する仕組みとして「大学ポータル」があり、各大学の多様な教育情報の発信に一定の効果を発揮。  
【課題】
- 国公立版**については大学改革支援・学位授与機構が、**私学版**については日本私立学校振興・共済事業団がそれぞれ運営を担っているが、**情報を提供するプラットフォームが異なる**ために、例えば取得可能な資格から大学を検索する際に、国公立と私立を別々に検索し直す必要があるなど、**必要な情報を容易に入手できない**。
- 学生の学修成果や学位プログラム単位の教育成果、認証評価結果など、**大学の教育研究の質に関わる重要な情報が必ずしも分かりやすく示されていない**。

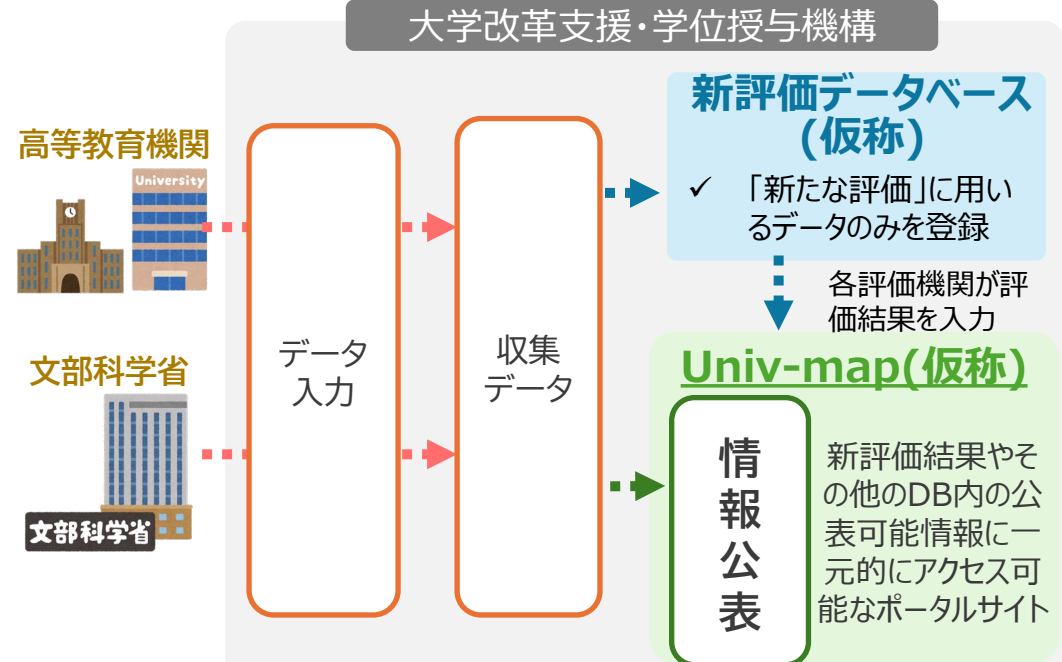
大学ポータル 国公立版のページ（一部）の例



学部・研究科  
情報へのリンク

大学の基本  
情報等

新たなデータプラットフォーム（イメージ）



※プラットフォームの開発費及びその後の運営費については、国が必要な公表項目を決定し、高等教育機関間の多様な比較を可能とする取組の趣旨を踏まえ検討。  
※大学ポータルに参画している大学の負担軽減等のため、円滑な移行方法や大学ポータル参画大学の情報の先行公表等についても検討を進める。

設置者横断で比較可能なページ

大学学部の個別詳細ページ ※最新情報の提供の観点から随時更新を可能とする。

〇〇大学〇〇学部

国立 4年制 学生:〇〇人 ST比:〇

評価結果 (RO年度) ★★

学生成長実感割合 (RO年度) 〇〇%

入学者選抜方法

一般 総合型 学校推薦型 その他

初年度費用 〇〇万円(入学金+授業料)

経済的支援

修学支援新制度 独自奨学金

学部の詳細情報はこちら

〇〇県〇〇市

●●大学〇〇学部

私立 4年制 学生:▲▲人 ST比:■

●●県●●市

〇〇大学〇〇学部

【〇〇学科、△△学科、××学科】

〇〇県〇〇市

- 基本情報
  - ・学生数:〇〇人 教員数:〇〇人(うち博士号取得者数:〇〇人) ST比:〇
- ディプロマポリシー
  - ・〇〇〇〇…
- 大学の評価に関する情報
  - ・評価結果 ☆☆ (評価機関〇〇、RO年度)
  - ・評価の具体的な内容
  - ・〇〇〇…
- 学修に関する情報(RO年度全国学生調査)
  - ・学生の成長実感割合:〇〇%
  - ・将来の仕事につながるような知識・スキル等が身についたと自己評価した者の割合:〇〇%
  - ・学生の平均学修時間:〇時間/週
- 学生に関する情報
  - ・入学者数推移(右図)
  - ・収容定員:〇〇人
  - ・定員充足率:〇〇%
  - ・外国人留学生数:〇〇人
- 入学者選抜に関する情報
  - ・一般選抜、総合型選抜 (募集要項へのリンク)
- 卒業後の状況
  - ・進路状況
- 取得可能な資格
  - ・〇〇〇
- 学費・経済的支援等に関する情報
  - ・初年度費用(授業料〇〇万円、入学金〇〇万円、2年目以降の年間費用〇〇万円)
  - ・独自奨学金等の経済的支援に関するサイトへのリンク
  - ・社会人学生や障害のある学生等への支援に関するサイトへのリンク

入学者推移

	RO-2	RO-1	RO
定員数	〇〇	〇〇	〇〇
入学者計	〇〇	〇〇	〇〇
男	〇〇	〇〇	〇〇
女	〇〇	〇〇	〇〇

進路状況

主な業種

〇〇大学の情報公表サイトはこちら

# 情報公表に関する参考資料

(参考) 我が国の「知の総和」向上の未来像 ～高等教育システムの再構築～ (答申) 抜粋

## 2. (1) 教育研究の「質」の更なる高度化

### ①学修者本位の教育の更なる推進

#### イ. 新たな質保証・向上システムの構築

その際、新たな評価制度は、単に評価基準 に対する適合・不適合を判定するのではなく、在学中にどれくらい力を伸ばすことができたのかといった大学等の教育の質を数段階で示すなど、多様で高度な研究活動にも裏打ちされた高等教育による付加価値を明確化する仕組みとすべきである。その際、結果について国民に対して分かりやすく公表するための工夫をすることで、社会的な評価の一層の促進を図ることができるようにするとともに、教育の質が十分に担保されていない機関については撤退を促していくことが望ましい。さらに、新たな評価制度においては、その評価に用いる各大学の教育情報を容易に提出可能なデータベースを整備するなどして、現行の仕組みよりも高等教育機関側・評価機関側双方の負担軽減を図っていくことが求められる。

### ⑤情報公表の推進

前述の新たな評価制度においては、新たなデータベースの情報を活用することとし、高等教育機関側・評価機関側の双方の負担軽減を図っていくことが求められるが、当該データベースとの連携も含めて、諸外国の状況も参照しながら、大学ポートレートで培ってきた実践や知見を生かしつつ、単純な数値に限らず高等教育機関を横断的に比較する観点から、設置者別ではない新たなデータプラットフォーム (Univ-map (ユニマップ) (仮称)) を構築し、情報公表を更に進めることが必要である。その際、学修者や進学希望者が、各高等教育機関の教育力を把握するに当たって、どのような情報が必要であるかという観点から公表項目を検討していくことも必要である。

#### <具体的方策>

- ・多様な教育活動の状況を国内外の様々な者に分かりやすく発信するため、大学入学者選抜に関する情報や、学修成果や教育成果に関する情報についての公表を更に促進するとともに、利用者にとっての利便性向上を図るための高等教育機関間の多様な比較分析が可能となる情報の可視化を進める。
- ・各高等教育機関における事務手続の軽減を図る観点や、新たな評価制度の充実の観点から、評価におけるデータ活用のためのデータベースの整備について検討する。(①イの再掲)

# 情報公表を促す制度・指針等について

項目	大学が公表すべき教育情報 (学校教育法施行規則第172条の2)	高等教育の修学支援新制度機関要件 (大学等における修学の支援に関する法律施行規則第2条)	大学ポータル	教学マネジメント指針
基本情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 大学の教育研究上の目的 ex) 大学の教育研究上の目的、3つのポリシー</li> <li>➢ 教育研究上の基本組織 ex) 学部、研究科の名称</li> </ul>			—
教育情報	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 教員 ex) 教員組織、教員数、各教員の学位及び業績</li> <li>➢ 学生 ex) 入学者数、収容定員、学生数</li> <li>➢ 進学及び就職 ex) 卒業者数、修了者数、進学者数、就職者数、進学及び就職等の状況</li> <li>➢ 教育課程 ex) 授業科目、授業の方法及び内容、シラバス、学修の成果に係る評価</li> <li>➢ キャンパス ex) 校地、校舎等の施設及び設備、学生の教育研究環境</li> <li>➢ 費用 ex) 授業料、入学科</li> <li>➢ 学生支援 ex) 修学支援、就職・進路選択支援、心身の健康等に係る支援</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 特色 ex) 学部・研究科等の特色、生涯教育(私学版)、社会貢献(私学版)</li> <li>➢ 入試 ex) 入試情報、転学編入学</li> <li>➢ 取得可能な資格</li> <li>➢ 課外活動 ex) クラブ活動の状況、ボランティア活動の状況 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 「卒業認定・学位授与の方針」に定められた学修目標の達成状況を明らかにするための学修成果・教育成果に関する情報例 ex) 学生の成長実感・満足度、修業年限期間内に卒業する学生の割合、アセスメントテストの結果、語学力検定等の学外試験のスコア</li> <li>➢ 学修成果・教育成果を保証する条件に関する情報例 ex) 教員一人あたりの学生数、履修単位の登録上限設定の状況、GPAの活用状況、教学IRの整備状況</li> </ul>
財務情報	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 収支計算書、貸借対照表などの財務諸表等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 財務諸表等(国公立版)</li> </ul>	—
その他	—	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 自己点検・評価の結果</li> <li>➢ 設置者の役員の氏名が記載された名簿</li> <li>【任意項目】</li> <li>➢ 事業計画 など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>➢ 評価結果(認証評価及び自己点検評価の結果)</li> <li>➢ 高等教育の修学支援新制度(国公立版)</li> </ul>	—

# 大学の教育研究活動等に関する情報公表制度等

## ●大学における教育研究活動等の状況について積極的に情報提供する義務を規定（平成11年）

### 【大学設置基準】(当時)

第二条の二 大学は、当該大学における教育研究活動等の状況について、刊行物への掲載その他広く周知を図ることができる方法によって積極的に情報を提供するものとする。(※平成22年に条削除、平成23年に学校教育法施行規則第172条の2を新設)

## ●教育研究活動の状況の公表に関する義務について法律レベルで規定（平成19年）

### 【学校教育法】

第百十三条 大学は、教育研究の成果の普及及び活用の促進に資するため、その教育研究活動の状況を公表するものとする。

## ●各大学が公表すべき教育情報を具体的に規定（平成23年、平成28年、平成29年、令和元年）

### 【学校教育法施行規則】

第百七十二条の二 大学は、次に掲げる教育研究活動等の状況についての情報を公表するものとする。

- 一 大学の教育研究上の目的及び第百六十五条の二第一項の規定により定める方針に関すること(※後段は3つのポリシー策定義務化に伴う追加(平成28年))
  - 二 教育研究上の基本組織に関すること
  - 三 教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること
  - 四 入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関すること
  - 五 授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画(大学設置基準第十九条の二第一項(大学院設置基準第十五条において読み替えて準用する場合を含む。)、専門職大学設置基準第十一条の二第一項、専門職大学院設置基準第六条の三第一項、短期大学設置基準第五条の二第一項及び専門職短期大学設置基準  
第八条の二第一項の規定により当該大学が自ら開設したものとみなす授業科目(次号において「連携開設科目」という。)に係るものを含む。)に関すること
  - 六 学修の成果に係る評価(連携開設科目に係るものを含む。)及び卒業又は修了の認定に当たつての基準に関すること
  - 七 校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境に関すること
  - 八 授業料、入学料その他の大学が徴収する費用に関すること
  - 九 大学が行う学生の学修、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること
- 2 専門職大学等及び専門職大学院を置く大学は、前項各号に掲げる事項のほか、学校教育法第八十三条の二第二項、第九十九条第三項及び第百八条第五項の規定による専門性が求められる職業に就いている者、当該職業に関連する事業を行う者その他の関係者との協力の状況についての情報を公表するものとする。(※専門職大学設置基準の制定に伴う追加(平成29年))
- 3 大学院(専門職大学院を除く。)を置く大学は、第一項各号に掲げる事項のほか、大学院設置基準第十四条の二第二項に規定する学位論文に係る評価に当たつての基準についての情報を公表するものとする。(※大学院における3つのポリシー策定義務化に伴う追加(令和元年))
- 4 大学は、前各項に規定する事項のほか、教育上の目的に応じ学生が修得すべき知識及び能力に関する情報を積極的に公表するよう努めるものとする。
- 5 前各項の規定による情報の公表は、適切な体制を整えた上で、刊行物への掲載、インターネットの利用その他広く周知を図ることができる方法によって行うものとする。

## ●情報公表への取組状況を認証評価における評価の対象に位置付け(平成23年)

### 【学校教育法第110条第2項に規定する基準を適用するに際して必要な細目を定める省令】

第一条 学校教育法(略)第百十条第三項に規定する細目のうち、同条第二項第一号に関するものは、次に掲げるものとする。

- 一 大学評価基準が、法及び学校教育法施行規則(略)並びに大学((略))に係るものにあつては大学設置基準(略)に、それぞれ適合していること。  
二～四 (略)
- 2 前項に定めるもののほか、法第百九条第二項の認証評価に係る認証評価機関になろうとする者の認証の基準に係る法第百十条第三項に規定する細目のうち、同条第二項第一号に関するものは、次に掲げるものとする。
  - 一 大学評価基準が、次に掲げる事項について認証評価を行うものとして定められていること。  
イ～ハ (略)
  - ト 教育研究活動等の状況に係る情報の公表に関すること。
  - チ～ヌ (略)

# 大学ポートレートについて

平成27年3月より、(独)大学改革支援・学位授与機構に置かれる「大学ポートレートセンター」が日本私立学校振興・共済事業団と連携・協力して、大学ポートレートによる国公私立大学の大学情報の発信を開始。(https://portraits.niad.ac.jp/)

## 概要・趣旨

データベースを用いた大学の教育情報の活用・公表のための共通的な仕組みを構築。

- 大学の多様な**教育活動の状況**を、国内外の様々な者にわかりやすく**発信**。  
→ 大学のアカウンタビリティの強化、進学希望者の適切な進路選択支援、我が国の高等教育機関の国際的信頼性の向上
- 大学が**教育情報**を自らの活動状況を把握・分析することに**活用**。  
→ エビデンスに基づく学内のPDCAサイクルの強化による大学教育の質的転換の加速。外部評価による質保証システムの強化。
- 基礎的な情報について共通的な公表の仕組みを構築し、**各種調査等**への対応に係る大学の**負担軽減**。  
→ 大学運営の効率性の向上



## 大学ポートレートで発信している主な大学情報

### 【大学単位で公表する情報】

- ・大学の基本情報
- ・大学の教育研究上の目的等
- ・大学の特色等
- ・教育研究上の基本組織
- ・キャンパス
- ・評価結果
- ・学生支援（修学支援、就職・進路選択支援等）
- ・課外活動

### 【学部・研究科等の単位で公表する情報】

- ・教育研究上の目的と3つの方針
- ・学部・研究科等の特色
- ・教育課程（取得可能な学位、学問分野、学修の成果に係る評価等）
- ・資格
- ・入試（入学者数、入試方法等）
- ・教員（教員組織、教員数、教員の有する学位・業績）
- ・学生（収容定員、学生数）
- ・キャンパス
- ・費用及び経済的支援（授業料等、奨学金、授業料減免）
- ・進路（卒業・修了者数、進学者数・就職者数）

**大学の基本情報**

大学の基本情報

大学名 東京大学  
 本部所在地 東京都文京区本郷7-3-1  
 設立年 (協定認可年) 1949  
 大学の連絡先 (代表番号、メールアドレスなど) 03-3812-2111  
 大学の種類 国立・大学 (大学院大学を含む)  
 総学生数 (学部) 14,074人  
 総学生数 (大学院) 14,844人  
 総教員数 (本学) 1,484人  
 教員 (本学専) 1,484人

**大学の教育研究上の目的や建学の精神**

大学の教育研究上の目的や建学の精神

(東京大学審議 前文)  
 21世紀に入り、人類は、国家を超えた地球村の交わりが飛躍的に進む時代を迎えている。

**大学の特色等**

大学の特色等

我が国最初の国立大学である東京大学は、人文学と社会科学と自然科学にわたる広範な学問分野において、知の発展に努め、基礎的なディシプリンの継承と拓充を図るとともに、学際研究や学際融合を優先とする新たな学問領域の創造を進めてきた。東京大学は、一方で知の最先端に立つ世界最高水準の研究を推進し、活発な国際的研究交流を行って世界の学術をリードするとともに、他方で教養学部を責任部局とする前期課程教育体制を堅持して、充実した教養教育(リベラルアーツ教育)を学生に施し、広い視野と知的基礎を持つ学生を育ててきた。

**教育研究上の基本組織**

教育研究上の基本組織

学部 (短期大学の場合は学科)

教養学部 (文科系: 1, 2年次)  
 教養学部 (理科系: 1, 2年次)

**キャンパス情報**

キャンパス情報

アクセス

リンク先からご確認ください。

**高等教育の修学支援新制度**

高等教育の修学支援新制度の対象校か

高等教育の修学支援新制度の対象校か	確認年月
○	2019年9月

※対象校とは、大学等における修学の支援に関する法律に定める授業料等減免実施のための要件を満たしていることについて確認を受けた機関を指す。要件を満たさない機関及び対象校となるための申請をしていない機関は空欄で表示される。  
 ※対象校であっても要件に合う

**評価結果**

評価結果 (認証評価及びその他の評価の結果)

評価機関	評価年月	評価結果

**学生支援**

学生支援

● 修学支援

● 就職・進路選択支援

(キャリアサポート室)

- キャリア形成 (進路全般) に関する支援
- ① 知の創造的学際プロジェクト
  - 「交流会」
  - ・ 東大生のための主体的なキャリア選択、大学生活をサポートするプロジェクト
  - ・ 卒業生100名/在学生250名以上が一堂に会し人生観やキャリア観を話し合う

**課外活動**

課外活動

● クラブ活動の状況

リンク先からご確認ください。

● ボランティア活動の状況

被災者の救援・復興支援に当たることは本学の責務であり、ボランティア活動に参加することは、学生にとって大変意義のあることと考えています。本学では、本学学生団体等が企画・募集する災害関連ボランティア活動や公的団体等が主催する、救援・復興に関わるボランティア活動を行う学生に支援金を補助するなど、支援活動に取り組んでいます。また、Webページ等でボランティアに関する情報も提供しています。

**学生寮**

学生寮一覧

学生寮の有無

有

学生寮名 三鷹国際学生宿舎

**財務諸表等**

財務諸表等

財務情報についてリンク先からご確認ください。

※本ページは「大学の基本情報」の全項目を抜粋して並べたもの。別途、各学部等単位の「学部・研究科の情報」のページも公表されている。

# 「大学ポータル」ウェブサイト — 公表項目①

## 【国内版】 国公立版

(令和8年度)

○国公立共通に公表する教育情報：  
「学教法施行規則等で公表が義務づけられた情報」、「外部評価の結果」に加えて「大学進学希望者や保護者の関心の高い情報」や「大学の特色が分かる情報」を含める。

### 大学の基本情報

大学の基本情報	大学名	本部所在地
	設立年	大学の連絡先
	大学の種類	大学の種類
	総学生数(学部)	総学生数(大学院)
	総教員数(本務者)	教員(本務者)一人当たりの学生数 ※
	専攻科・別科の学生数	科目等履修生等の学生数
	大学の教育研究上の目的や建学の精神	大学の教育研究上の目的や建学の精神
	大学の特色等	大学の特色等
	大学の学事暦	大学の学事暦 ※
	教育研究上の基本組織	教育研究上の基本組織
キャンパス情報	所在地	アクセス
	外観	アクセス図
	周辺図	校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育環境
	校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育環境	
	校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育環境	
高等教育の修学支援新制度	高等教育の修学支援新制度	
評価結果	評価結果(認証評価及びその他の評価の結果)	
	修学支援	心身の健康に係る支援
	留学生支援	障害者支援
	就職・進路選択支援	
課外活動	クラブ活動の状況	ボランティア活動の状況
	ボランティア活動の状況	
学生寮	学生寮一覧	
財務諸表等	財務諸表等	

青字：学校教育法施行規則改正対応として、令和8年8月より公表を開始予定。

注1) 項目名はサイトでの記載に準じるが一部省略。

注2) ※印は公表が任意とされている項目。

注3) 黄色塗りセルは国公立版と私学版で共通の項目(大学と学部の項目は分け、それぞれで比較)。

### 学部・研究科の情報

教育研究上の目的と3つの方針	学部・研究科等ごとの目的	アドミッション・ポリシー	
	カリキュラム・ポリシー	ディプロマ・ポリシー	
	学部・研究科等の特色等	学部・研究科等の特色等	
	学部・研究科等の学事暦 ※		
	教育課程	学科・専攻等	カリキュラム・ポリシー
		教育課程の特色	教育課程の特色
		授業科目	授業の方法・内容
		年間の授業計画	シラバス等
		シラバス等	学生が修得すべき知識及び能力に関する情報
		履修単位の登録上限制度 ※	平均履修単位数 ※
平均修得単位数 ※		平均学修時間(授業内、授業外) ※	
専門職課程の関連事業等との協力の状況 ※		学修の成果に係る評価の基準	
学位論文に係る評価の基準 ※		学生の平均満足度 ※	
卒業・修了認定の基準		転学部等の可否、費用負担	
専攻分野			
資格	取得可能な資格		
入試	アドミッション・ポリシー	入学者数	
	実施している入学選抜	受験者・合格者・入学者の構成(入試方法の区分別) ※	
	入試内容(教科・科目、合否基準、試験問題等) ※	障害のある入学志願者に対する合理的配慮	
	多様な背景を有する者への支援 ※	志願者数・受験者数・合格者数 ※	
	入学者の構成(男女別) ※	入学者の構成(出身高校所在地別) ※	

教員	教員が有する学位、業績
	教員組織
	教員数
	教員一人当たりの学生数 ※
学生	教員の構成(職位・男女・外国人教員別) ※
	教員の構成(年齢別) ※
	FD・SDの実施状況 ※
	収容定員
キャンパス情報	学生数
	編入学定員・編入学者数
	学生の構成(年次別・男女別・外国人留学生) ※
	その他の学生数(専攻科・別科・科目等履修生等) ※
費用及び経済的支援	所在地
	アクセス
	外観
	アクセス図
進路	周辺図
	校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育環境
	学生寮
	授業料、入学金、その他の徴収費用
進路	高等教育の修学支援新制度
	学納金の延納・分納の可否
	休業及び復学に係る費用
	奨学金
	授業料減免
	卒業・修了者数
	進学者数、就職者数
	卒業・修了者の構成(職業別、男女別) ※
	卒業・修了者の構成(産業別、男女別) ※
	卒業・修了者の構成(就職地域別) ※
早期卒業の状況 ※	
大学院への飛び入学の状況 ※	
平均履修単位数 ※	
修業年限期間満了時点での学生の状況 ※	
学位取得に要した年数ごとの修了者の割合 ※	
卒業・修了後の進路	

# 「大学ポートレート」ウェブサイト — 公表項目②

## 【国内版】 私学版

(令和8年度)

※私学版ウェブサイトは日本私立  
学校振興・共済事業団が運営

「学校」の公表内容

本学の特色	建学の精神
	特色 本学の目的 (*1)
本学での学び	ディプロマポリシー
	カリキュラムポリシー
	カリキュラム
	学事暦
	教育方法 学びの支援 (*2) 学修についての評価
学生生活支援	学生生活の支援 多様な背景を有する者への支援
	課外活動
進路・就職情報	サポート体制
	進路選択教育の取り組み
	卒業後の進路等 (*4)
	進路データ集 (*6)
様々な取組	外国人教員
	外国人留学生受入
	留学支援
	日本人学生の留学状況
	外国人教員・留学生データ集 (*7)
	修業期間の多様化 (*8)
	連携活動
	生涯教育 社会貢献
学生情報	研究活動
	アドミッション・ポリシー
教員情報	学生データ集 (*10)
	教員組織
	教員一人当たりの学生数 (ST比) FD・SDの実施状況
基本情報	教員データ集 (*11)
	学校の概要
	学長
	設置学部等名一覧
	キャンパス一覧
	特色ある施設
	施設トピックス
	学生寮
	経済的支援
	同窓会
	認証評価
	法人情報

「学部（研究科・短期大学学科）」の公表内容

学部等の特色	特色
	本学部等の目的 3つの方針
学部等での学び	ディプロマポリシー
	カリキュラムポリシー
	カリキュラム
	学事暦
	授業・履修について (*3) 教育方法 学びの支援 (*2) 学修についての評価
学生生活支援	学生の平均学修時間
	学生の平均満足度
	学生生活の支援 多様な背景を有する者への支援
進路・就職	課外活動
	サポート体制
	進路選択教育の取り組み
	取得可能な資格
	卒業後の進路等 (*4)
	修業年限期間満了時における学生の状況 (*5)
	早期卒業の状況 大学院への飛び入学の状況
進路データ集 (*6)	
様々な取組	外国人教員
	外国人留学生受入
	留学支援
	日本人学生の留学状況
	外国人教員・留学生データ集 (*7)
	修業期間の多様化 (*8)
連携活動	
生涯教育	
社会貢献	
研究活動	

学費・経済的支援	初年度納付金 (学科・専攻・コース別)
	その他の徴収費
	納入方法 その他の学費 経済的支援 奨学金及び授業料減免
入試・学生情報	アドミッション・ポリシー
	入試情報 (*9) 転学・編入学 学生データ集 (*10を含む)
教員情報	教員組織
	教員一人当たりの学生数 (ST比) 教員データ集 (*11) (※研究科を除く)
基本情報	概要
	設置学科 (専攻) 一覧 (※短期大学を除く)
	学位の授与状況
	キャンパス一覧 特色ある施設 施設トピックス

赤字：教学マネジメント指針または学校教育法施行規則改正対応として、システム開発等の後、登録及び公表を開始予定。

注1) 項目名はサイトでの記載に準じる。

注2) \*印の内容は以下のとおり。

\*1: 3つの方針 (ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー)

\*2: 学生の平均学修時間、平均満足度等を含む

\*3: 履修単位の登録上限制度、シラバス、単位の履修 (修得) 状況

\*4: 主な進学・就職先、進学率、就職率

\*5: 卒業・修了者、在学者、退学者の人数、割合

\*6: 卒業者数、就業者分類

\*7: 外国人教員、外国人留学生、外国人留学生 (通信教育部)、  
その他学生数 (学部のみ)、編入学者数 (学部のみ)

\*8: 早期卒業の状況、大学院への飛び入学の状況

\*9: 入試区分別受験者・合格者・入学者の構成、過去の試験問題・解答を含む

\*10: 入学者数、収容定員、在籍者数、志願者・受験者・合格者数、在籍者数 (通信教育部)

\*11: 教員数、外国人教員

注3) 黄色塗りセルは国立版と私学版で共通の項目 (大学と学部の項目は分け、それぞれで比較)。

# 海外の情報公表サイトの状況①（米国）

## （1）米国の状況

米国では、全米の大学等をデータ収集の対象とした包括的なデータベースシステム「中等後教育総合データシステム」（Integrated Postsecondary Education Data System（IPEDS））が全米教育統計センターによって管理・運用されている（<http://www.nces.ed.gov/ipeds>）。連邦政府の奨学金プログラム等に申請する大学等は、IPEDSへのデータ提出が実質上義務づけられている（データ提出がなければ奨学金プログラムへの申請できない）。

IPEDSからは複数の関連サイトにアクセスすることができ、例えば、College Navigator（カレッジ・ナビゲーター）は学費・生活費等、中退・卒業率、分野ごとの学位取得状況、運動部活動、第三者評価の結果、キャンパスの安全等の様々なデータを確認することができるが、College Scorecard（カレッジ・スコアカード）からは、学費、経済支援、学資ローンの負債額、卒業後の平均給与等の経済面でのデータを中心に、各大学等を比較しながら確認することができ、利用者のニーズに合わせた大学情報の検索が可能になっていると考えられる。

なお、卒業後の平均給与については、内国歳入庁が有する連邦貸与奨学金利用者の収入に関する情報を基に算出している（※）。

## College Navigatorのページ（例）

**大学名、州、学位課程などから検索**

**14の共通項目（一般情報、学費・生活費等、奨学金、在学者の構成、入学状況、中退率・卒業率、分野別学位取得状況、分野別課程別在学者数、適格認定、キャンパスの安全、連邦貸与奨学金の返還不履行率など）に関する情報**

**GENERAL INFORMATION**

**FINANCIAL AID**

**NET PRICE**

**ENROLLMENT**

**ADMISSIONS**

**RETENTION AND GRADUATION RATES**

**OUTCOME MEASURES**

## College Scorecardのページ（例）

**卒業率**

**年間平均学費**

**卒業後の平均給与**

**学費**

**卒業率等**

**卒業後の給与**

**大学における多様性**

**入学テストの成績・入学率**

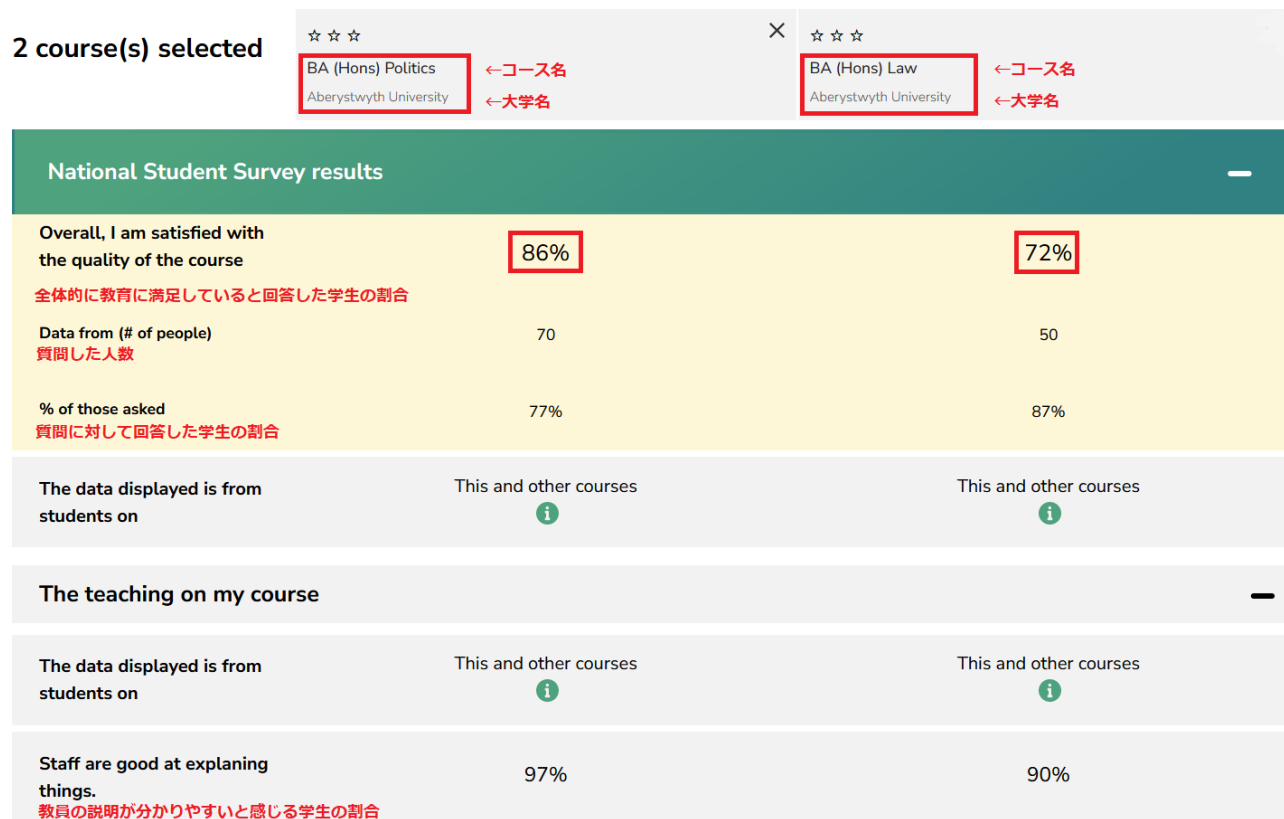
（※）参照：岸本睦久（2015），『諸外国の教育動向 2015年度版』，文部科学省，p43

# 海外の情報公表サイトの状況②（英国）

## （2）英国の状況

英国では、大学への公財政の配分を担う4地域の政府機関が学士課程の情報を一元的に提供する” Discover Uni”（<https://discoveruni.gov.uk/>）を構築・運営しており（※1）、イングランドは学生局（OfS：Office for Students）が所管している。データは最終学年の在学学生を対象にした全国学生調査（NSS：National Student Survey）、卒業15ヶ月を経過した元学部生への卒業調査（GO：Graduate Outcomes）、卒業3年及び5年の縦断教育成果（LEO：Longitudinal Education）のデータ（※2）等を基にしている。教育コースごとに、学生満足度、就職と収入、認証評価の状況、学業の継続状況等の情報を確認することができ、複数の大学の教育コースを選択して比較可能となっている。また英国の大学入試手続を担う大学・カレッジ入学サービス機構（UCAS：Universities and Colleges Admission Service）も別途、提供する教育コース（学士課程と大学院）ごとの基本情報や入学条件等を提供している。

Discover Uni の  
ページ（例）



（※1） 2019年9月よりUnistatsがDiscover Uniへ変更となった。

（※2） NSSは市場調査会社、GOは英国高等教育統計機構（HESA：Higher Education Statistics Agency）による収集データ、LEOは教育省が保有する政府の納税記録に基づく収集データによるものである。LEOについては北部アイルランドの大学のコースは含まない。

# 海外の情報公表サイトの状況③（フランス）

## (3) フランスの状況

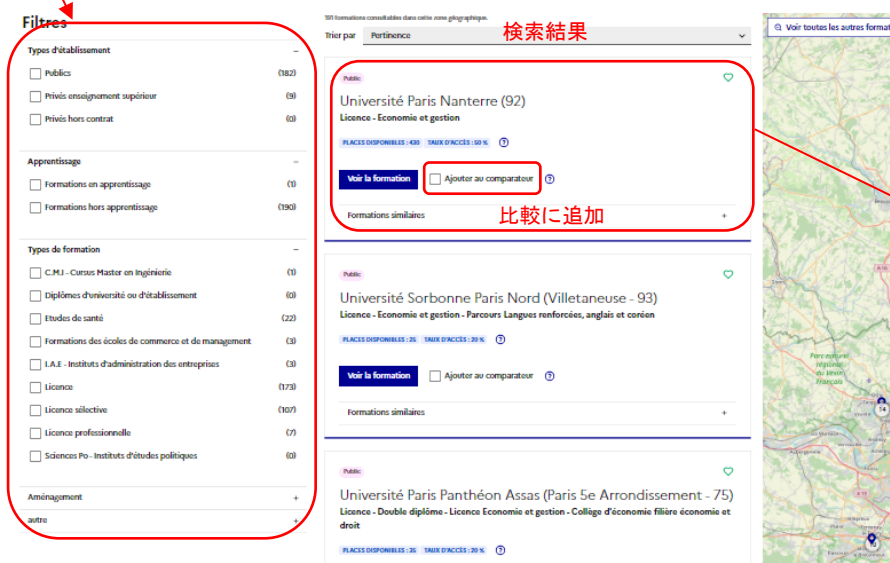
フランスでは、高等教育1年目に進学する際の出願手続を実施するためのプラットフォーム“Parcoursup”を高等教育・研究省が構築・運営している（<https://www.parcoursup.gouv.fr/>）（※）。Parcoursupでは、同プラットフォームを通して一連の出願プロセスを実施する国立及び私立の高等教育機関（約2万3,000の課程）の情報が提供されている。課程、分野、所在等により各機関で提供される課程を検索することができ、課程ごとに課程の概要、定員、学籍登録料、奨学金、進路等に関する情報を確認することができる。2023年12月より比較機能が追加され、最大5つの課程を選択し、入学状況、学籍登録料、奨学金等の情報を比較することが可能。

※修士課程への出願については同様のプラットフォームMon Masterがある。

### Parcoursupのページ（例：検索機能）



機関の種類、課程の種類等から検索



比較に追加

### Parcoursupのページ（例：比較機能）

大学、課程名	Université Paris Nanterre (92) Licence - Economie et gestion	Université Sorbonne Paris Nord (Villetaneuse - 93) Licence - Economie et gestion - Parcours Langues renforcées, anglais et coréen	Institut Catholique de Paris (ICP) - Campus de Paris (Paris 6e Arrondissement - 75) Licence - Droit	Université Paris 1 Panthéon Sorbonne (Paris 5e Arrondissement - 75) Licence - Economie
ディプロムの認証	Label	Label	Label	Label
国/私	Public / Privé	Public	Privé enseignement supérieur	Public
見習い訓練	Non	Non	Non	Non
入学状況	Taux d'accès: 50%	Taux d'accès: 20%	Taux d'accès: 42%	Taux d'accès: 55%
学籍登録料	Frais non boursier: 170 euros. Frais boursier: Pas de frais pour les boursiers.	Frais non boursier: 170 euros. Frais boursier: Pas de frais pour les boursiers.	Frais non boursier: de 3 850 à 9 550 euros (Montant pour 2023/2024) Frais boursier: de 3 850 à 9 550 euros: les boursiers...	Frais non boursier: 170 euros. Frais boursier: Pas de frais pour les boursiers.
奨学金	Oui	Oui	Oui	Oui

### Parcoursupのページ（例：課程ごとの情報）

**Public 国私別の Université Paris Nanterre (92) 大学名**  
**Licence - Economie et gestion 課程名**

課程の概要等 審査基準等 出願方法 課程のデータ 進路等 連絡先等

Découvrir la formation et ses caractéristiques Comprendre les critères d'analyse des candidatures Consulter les modalités de candidature Accéder aux chiffres clés de la formation Connaître les débouchés Contacter et échanger avec l'établissement

Présentation de la formation 課程の概要  
Le parcours général de la mention Economie et Gestion propose une formation solide en économie, gestion et techniques

Certification ディプロムの認証

出典：Parcoursupのサイトを基に文部科学省作成。

# 海外の情報公表サイトの状況④（韓国）

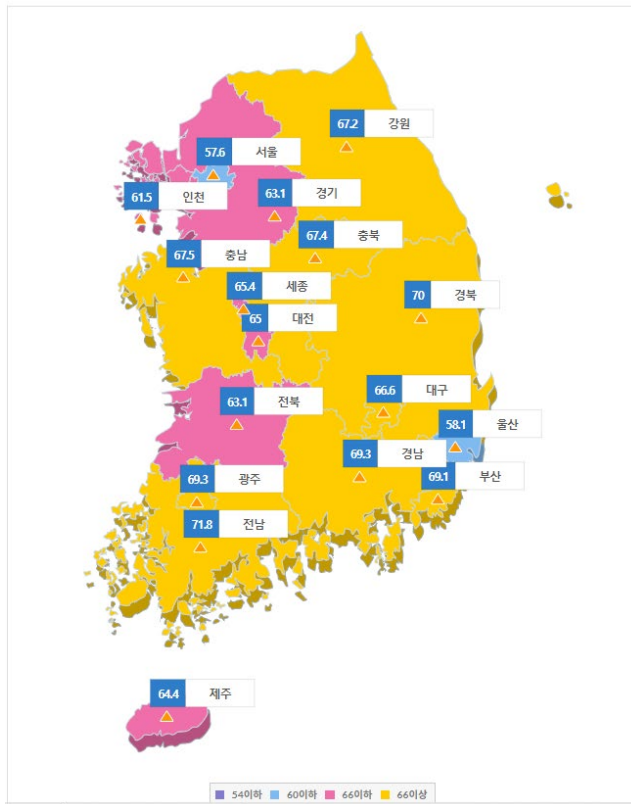
## （4）韓国の状況

韓国では、2007年5月に「教育関連機関の情報公開に関する特例法」が制定され、学校情報の公開に関する法的整備が完了したことにより、質保証の一環としての大学情報公開体制が構築された。これにより、幼稚園から大学に至るまで、全ての学校は主要情報を公開することが義務付けられ、自己評価の結果の一部もここに掲載されている。大学情報ポータル（<https://www.academyinfo.go.kr/index.do>）。

2023年現在、データは14分野65項目104細部項目が公開されており、学校、学部、学科単位での比較が可能。大学等の機関は各項目について定められた公示時期にデータを提出するほか、学則などの改正時には随時公開することとされている。提供言語は韓国語、英語、中国語。

なお、これらの公開された情報は、競争的資金の申請や大学評価の際の指標の一部として積極的に活用されている。

大学情報ポータルのページ（例：比較機能）



大学毎の情報ページ（例：ソウル大学）

상세검색

**年度**  
2023

**設置者**  
대학

**학교유형**  
**기관**

전체  대학교  
 교육대학  산업대학  
 사이버대학(대학)  
 방송통신대학  각종학교(대학)  
 기술대학

**所在地**

전체  서울  
 부산  대구  
 인천  광주  
 대전  울산  
 경기  강원  
 충북  충남  
 전북  전남  
 경북  경남  
 제주  세종

**主要項目**

전임교원 강의당당비율  
 평균등록금  
 외국인 학생 수  
 재학생 1인당 장학금  
 전임교원 1인당 학생수(재학생)  
 전임교원 1인당 학생수(학생정원)  
 정원내 신입생 경쟁률  
 학생 1인당 교육비(국공립)

**서울대학교** 학교홈페이지 지도보기

주소: 서울특별시 관악구 관악로 1(신림동, 서울대학교) (우: 06826)  
대표전화: 02-880-5114 | 대표팩스: 02-885-5272  
유형: 대학교 | 설립: 국립대법인 | 학교설립일: 1946.08.22

서울대학교는 2023 QS 세계대학평가에서 29위를 기록하며, 한국의 고등교육을 견인하는 세계적인 대학으로서의 발전 가능성을 보여주었습니다. 서울대학교는 번인원을 계기로 세계를 선도하는 창의적 지식공동체로 나아가는 서울대학교가 되기 위해 새로운 비전을 정립하고, 교육과 연구 역량을 세계적인 수준으로 높여나갈 수 있는 발전의 기틀을 마련하였습니다. 새로운 시대정신을 뒷받침할 탄탄한 기지정조의 중심으로서 시·고등교육과 국가 발전에 기여하기 위하여 더욱 노력하고 있습니다.

보다 정확한 정보공시를 위하여, 일부 대학의 데이터 값이 수정될 수 있으니 이점 명심하여 주십시오.

서울대학교	서울대학교 경영전문대학원	서울대학교 공학전문대학원
서울대학교 국제농업기술대학원	서울대학교 국제대학원	서울대학교 대학원
서울대학교 데이터사이언스대학원	서울대학교 법학전문대학원	서울대학교 보건대학원
서울대학교 융합과학기술대학원	서울대학교 의학대학원(메그)	서울대학교 치의학대학원
서울대학교 행정대학원	서울대학교 환경대학원	

**우리대학경쟁력** 공시정보 학과정보

**데이터 탭:** **大学競争力** **学生** **教員研究** **財政** **教育環境**

**在学生充足率**

재학생 충원율 (정원내 재학생수/학생정원·학생모집정지인원×100%)

전체 재학생수	16,662 명
정원내 재학생수	14,987 명
학생정원	13,222 명
학생모집정지인원	0 명
충원율 (정원내)	113.3 %

○ 자료기준일: 2023.4.1

**就職率**

취업률 (취업자수/졸업자수·제외자수×100%)

졸업자수	0 명
취업자수	0 명
제외자수	0 명
취업률	0 %

○ 자료기준일: 2022.12.31

**新入生充足率**

신입생 충원율 (정원내 입학자수/정원내 모집인원×100%)

전체 입학자수	3,480 명
정원내 입학자수	3,236 명
정원내 모집인원	3,237 명
충원율 (정원내)	100.0 %

○ 자료기준일: 2023년 9월학기 신입생

出典：大学情報ポータルサイトを基に文部科学省作成。

16

# 海外の情報公表の状況⑤（中国）

## （5）中国の状況

教育部傘下の学生サービス・資質発展センターが運営する「[中国高等教育学生情報ネット](#)」があり、その中に高等教育入学志願者向けの情報サイトとして「[陽光高考情報プラットフォーム](#)」がある。同プラットフォームでは、機関の紹介、学部等の設置、専門分野の紹介、教員の質、学生募集及び選抜の規則、奨学金、宿舎・食堂、過去の合格ライン、学校のインフラ設備、学生の学校満足度等の情報を提供している。

陽光高考情報プラットフォームの北京大学のページ

**北京大学** 25180人关注

教育行政主管部门: 教育部 院校特性: “双一流”建设高校 研究生院

所在地: 北京 详细地址: 北京市海淀区颐和园路5号  
官方网址: <https://www.pku.edu.cn> 招生网址: <https://www.gotopku.cn/>  
官方电话: 010-62751407

在线咨询 招生章程

学校首页 学校简介 院系设置 专业介绍 招生简章 录取规则 奖学金设置 食宿条件 往年录取信息 更多信息

トップページ 学校紹介 学部等の設置 専攻分野 学生募集規則 選抜規則 奨学金 宿舎・食堂 過去の合格ライン その他

微信 名称: 北京大学招生办 微信号: gotopku1898  
微博 名称: 北京大学招生办 网址: <https://weibo.com/u...>  
百家号 名称: - ID: -  
视频号 无: 无

**院校满意度**

満足度	投票数
综合满意度: 4.7	1708人投票
环境满意度: 4.6	1827人投票
生活满意度: 4.3	1681人投票

学校満足度

**考生咨询**

甘肃文科666有希望报考贵校吗?  
甘肃文科666有希望报考贵校吗?  
ch\*\*\*btuyvcf2o4v6wlb (甘肃) 2023-06-28 16:13

A 您好! 请跟我校甘肃招生组联系咨询, 其联系方式请登录北大招生网查询: [www.gotopku.cn](http://www.gotopku.cn).

出典「陽光高考情報プラットフォームウェブサイト」を基に文部科学省作成。

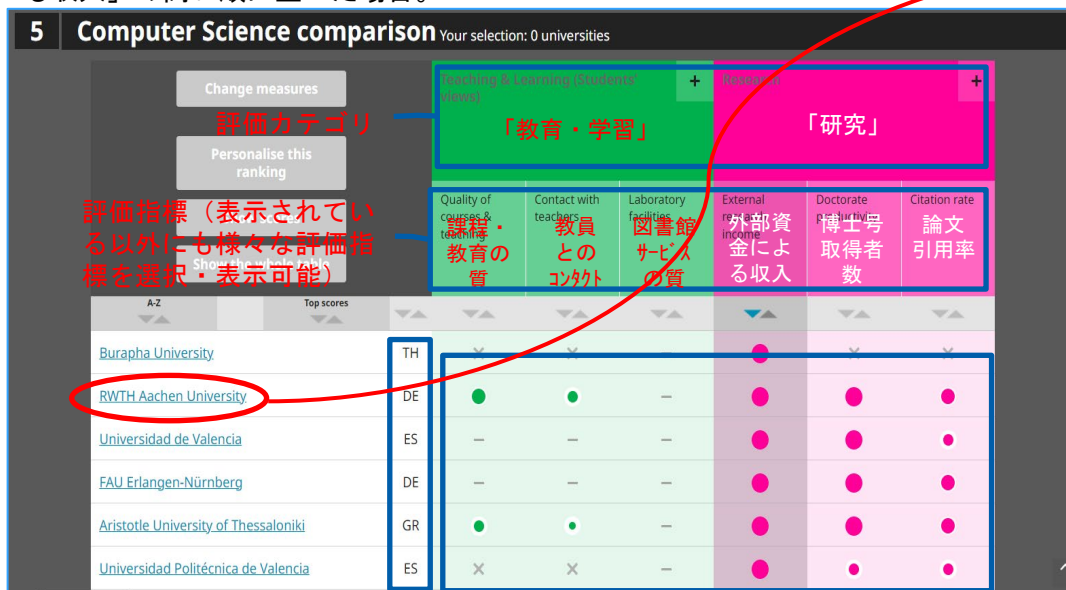
# 海外の情報公表サイトの状況⑥ (EU)

## (6) EUの状況

EU（欧州連合）の行政執行機関である欧州委員会は、高等教育における学生や教員の移動の更なる促進を目的に、独自の高等教育ランキングシステム「U-Multirank」を開発し、2014年にオンラインで運用を開始した（<https://www.umultirank.org/>）。これは、高等教育機関及び研究機関の研究業績に重きを置く従来の高等教育ランキングに対する反省から多様性を重視し、研究業績だけでなく、世界の高等教育機関を▽教育・学習、▽研究、▽知識移転、▽国際化、▽地域社会への貢献、の5つのカテゴリーにおいて評価したデータベースであり、総合的な評価結果やリーグテーブルの代わりに、目的や方向性や規模等において条件が類似する高等教育機関の評価結果をカテゴリー別に比較したり、高等教育機関別に全評価結果を一覧したりと、高等教育機関の情報（各機関の任意登録により2022年版では96か国の2,202機関のデータを掲載）を利用者のニーズに応じて閲覧できるようになっている。

### 「U-Multirank」の比較結果のページ

※ コンピュータ・サイエンスの学科を有する396大学を評価指標「外部資金による収入」の高い順に並べた場合。



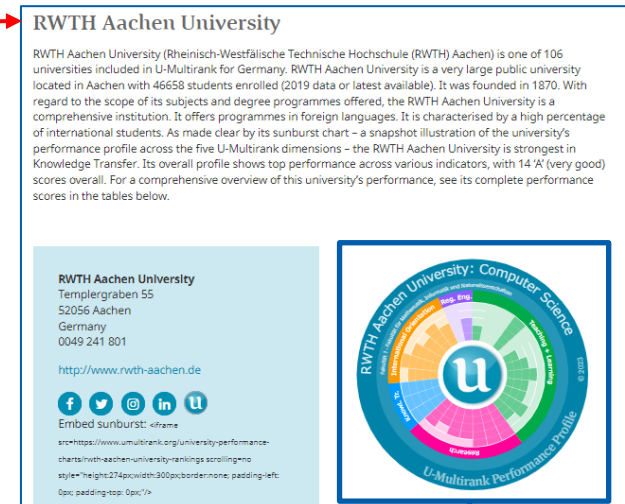
評価指標（表示されている以外にも様々な評価指標を選択・表示可能）

国

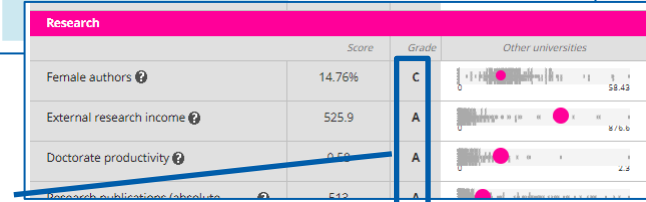
●が大きいほど評価が高いことを示す。  
-はデータなし、×は該当がないことを表す。

各評価指標の評価結果をA～Eの5段階で表示。

### 各大学のプロフィールのページ ※ドイツ、アーヘン工科大学の場合。



各カテゴリと指標の評価を図で表示。



出典：U-Multirankのサイトを基に文部科学省作成。